

## 第47回石川県レディースバドミントン競技大会（団体戦）要項

石川県レディースバドミントン連盟

会長 堀 純子

（公印省略）

1. 主催 石川県バドミントン協会 (株)北國新聞社
2. 主管 石川県レディースバドミントン連盟
3. 協賛 (株)ゴーセン
4. 日時 2022年10月9日(日) 午前8時30分 (受付 午前8時)
5. 場所 白山市美川スポーツセンター 白山市美川浜町タ6番地 TEL076-278-6090
6. 競技種目
  1. サファイアクラス
  2. ゴールドクラス
  3. エメラルドクラス
  4. ダイヤモンドクラス
  5. パールクラス

\*連盟登録者のクラス別は審議会が認めたランクに限ります。

7. 参加資格
  1. 石川県レディースバドミントン連盟に令和4年度登録済の人。  
新規で今大会に出場される方は、当連盟のランク基準に従って、所定の追加登録用紙を提出してください。
  2. サファイアクラスの方は、ゴールドクラスで1チームに1名に限り出場できる。
  3. ゴールドクラスの方は、エメラルドクラスで1チームに2名に限り出場できる。
  4. エメラルドクラスの方は、ダイヤモンドクラスで1チームに2名に限り出場できる。
  5. ダイヤモンドクラスの方は、パールクラスで1チームに2名に限り出場できる。
  6. 春のクラス別個人戦1、2位の人のランク下げは認められない。
8. 団体構成
  1. チーム編成は同一クラブとする。  
尚、単独でチームが組めないクラブは申し込み先に連絡願います。(審議会に諮ります)
  2. 選手は1チーム9名迄とする。  
チームが成り立たず、やむをえず選手を追加する場合は、同一チーム、エントリーランク以下の者を、当日受付時間迄認めます。  
ただし、既にエントリーした人のチーム間の移動は出来ません。
9. 競技方法 クラブ対抗、団体戦 1チーム3ダブルス  
クラス別のチーム数によりリーグ戦及びトーナメント戦とする。
  - ・2022年度(公財)日本バドミントン協会競技規則による。
  - ・審判は対戦チーム相互で行う。

(裏面に続く)

- ・予選2試合分のオーダー用紙は、8時からの受付と同時に提出すること。  
(オーダー用紙は抽選会当日に渡します)
- ・試合開始時には出場選手6名が全員揃っていること。

10. 参加料 1チーム 6,000円 (同封の振込用紙の通信欄に、内容明記のうえお申込み下さい)  
\*本年度個人登録料未納の方は、参加料と同時に納めてください。

11. 申込期日 2022年9月6日(火) 必着 期限厳守

12. 申込方法 参加料振込のうえ、クラブ単位で郵送又はメールで申し込んでください。  
\*大会申込書の氏名欄等は明確に記入のこと

【郵送】 〒923-0964 小松市今江町 5-783-11  
市井 清枝 (携帯) 090-3295-8743

【電子メール】 アドレス [ishibadladies@yahoo.co.jp](mailto:ishibadladies@yahoo.co.jp)  
石川県バドミントン協会のホームページより「レディースバドミントン競技大会(団体戦)」の申込書をダウンロードしてください。  
メール申込みの場合、返信メールをしますので確認してください。

13. 抽選会 2022年9月24日(土) 午後1時30分  
会場 金沢市総合体育館 第一会議室  
金沢市泉野出町 3-8-1 TEL(076)247-0088

- ・抽選会には必ず出席のこと  
(どうしても出席できない場合は、申込先まで事前にご連絡ください)

14. 付記
1. ランクを間違えて申し込まれた方は、審議会で訂正します。
  2. 今大会は、奥能登、くろゆり、KLC、小松 SSS、材木の各クラブに本部役員をお願いします。尚、会場等の準備がありますので、7時40分迄に集合してください。
  3. 昨年入賞したチームは、当日忘れずにカップの返還をお願いします。
  4. 各クラスの入賞チームは、会場の後片付けをお願いします。
  5. 服装は、(公財)日本バドミントン協会の検定合格品とし、上着の背面にクラブ名を明記願います。混成チームの場合は、所属クラブの背面を付けてください。
  6. 大会保険に加入しています。
  7. 検温表は、試合当日受付に提出してください。
  8. 新型コロナウイルス感染予防対策の注意事項です。
    - ・選手、関係者以外の入場禁止。
    - ・大きな声の発生禁止。
    - ・観覧席は自由としますが、三密にならないように席を空けて座る。
    - ・握手、ハイタッチ、抱き合うなどはしない。
    - ・ゲームに入る選手以外はマスクを着用する。ラケットバックの持ち込みを可とする。
    - ・ゴミからも感染が発生する場合がありますので、各自持ち帰る。